



# 「清瀬市平和の日」(仮称)の制定 による平和事業の充実(案)

清瀬市まちづくり委員会  
発表者：上村菜々沙

# 現状及び課題点

清瀬市では平和事業が盛んに行われている。

ピース・エンジェルズ事業

平和祈念フェスタ  
in 清瀬

DVD鑑賞

朗読会

# 現状

## 清瀬市の平和事業

事業名	内容
ピース・エンジェルズ事業	1995（平成7）年度から実施され、市内に在住する小学5年生から中学3年生までの児童生徒を市の代表として被爆地である広島に派遣
平和祈念フェスタ in 清瀬	毎年8月と3月に開催 ピース・エンジェルズの報告会や講演会、クリアギャラリー・市役所での展示会を実施
平和の塔の設置	1974（昭和49）年に市民の平和の願いを込めた「平和の塔」を遺族会や市民の皆さんの寄付などをもとに中央公園に設置している
非核平和宣言都市塔の設置	1982（昭和57）年に清瀬市議会で「非核清瀬市宣言」が議決されました。この議決を受けて「非核平和宣言都市塔」を市内5カ所（中央公園・下宿地域市民センター・けやき通り・小金井街道・志木街道）に設置している

# ピース・エンジェルズ事業

1995年から始まり、毎年10名の児童・生徒を広島市に派遣。  
ここ数年はコロナ禍のため、広島派遣を行うことができていない。



元安川のとうろう流し



事前学習会



市民が折った千羽鶴を原爆の子の像に捧げる



原爆の子の像の前で



献花

写真：清瀬市HPより引用

# 平和祈念フェスタ in 清瀬

平和祈念展等実行委員会が中心となって企画・運営を行い、毎年8月・3月に講演会と展示会を開催している。

ここ数年はコロナ禍のため、展示会のみの実施となっているため、12月に映画上映会を実施した年もある。



ピース・エンジェルズ広島派遣報告会



講演会



映画上映会&トークショー



展示会

写真：清瀬市より提供

# 課題点

清瀬市は戦争の体験を後世に語り継ぐ若者が少ない。

## 現在、学生委員はたったの7名

戦争に関心がない、そもそも平和事業を実施していることすら知らない、戦争に関して伝えたいけれど、伝え方がわからない若者が多いのではないかな？

日本は唯一の戦争被爆国であり、二度と同じことを繰り返してはいけなないと発信していかなければならない国である。

実際に戦争を体験した方が減ってきている中、その体験を後世に伝えていく若い人が必要で、そのためにはまず、若い人たちに平和について関心をもってもらう必要があると考える。

コロナ禍で「ピース・エンジェルズ事業」の中止や「平和祈念フェスタin清瀬」の縮小開催の中、ますます子どもたちは平和について学ぶ機会が減ってきている。

# 平和祈念フェスタ in 清瀬 アンケート結果

## 展示会来場者の年齢

年	月	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
平成30年度	8月	1	1	0	1	1	2	6	5	5
平成31年度	3月	1	1	0	1	3	2	4	4	1
令和元年度	8月	0	1	0	0	4	1	3	6	4
令和2年度	12月	0	1	0	1	1	0	1	4	0
令和2年度	3月	0	1	0	2	2	1	8	9	6
令和3年度	8月	1	0	2	2	5	2	5	7	3
令和3年度	3月	0	0	2	0	1	3	2	7	5
令和4年度	8月	1	3	2	1	4	7	8	19	7

10代から30代の来場者が少ないのは平和事業の実施を知らない可能性がある。

# 提案内容

## 「清瀬市平和の日」をつくりたい

### <日にち>

7月1日、または7月の第1週

理由：小中学生が夏休みに入る前に戦争や平和について勉強することで、より意味のある8月6日や8月9日、8月15日を迎えることができるから。

### <「清瀬市 平和の日」に行う催し>

- ・ 平和祈念フェスタ in 清瀬
- ・ 戦争に関して、今の世界状況なども加味した上で若い人たちでの意見交換の場
- ・ 戦争に関する絵本の読み聞かせや実際に戦争を経験した方の話を聞ける場



# 平和事業の充実

## 『平和祈念フェスタ in 清瀬』のイメージチェンジ

→暗くなりすぎず、難しくなりすぎず、小学生も参加できる雰囲気大切

- ・ピース・エンジェルズとして行った小中学生とOGとの対談

## 若者が参加しやすいイベントの開催

- ・外部の講師を招き、フェスタ参加者全員で「なぜ戦争は起きてしまうのか」をテーマに授業形式で考える講演会

(ピース・エンジェルズとして行った小中学生もいるため、小学生にもわかりやすい話題で行う)

## 子どもと大人で考える場

- ・平和祈念フェスタin清瀬の展示会を実施しているクリアギャラリーに隣接した駅前図書館での戦争に関する本の展示紹介や本の読み聞かせを実施

# 見込める成果

平和について興味をもつ子どもたちや  
若い人が増える

「清瀬市平和の日」をつくり、平和事業を充実させることは、平和について学べる日や、週を設けることにつながり、**市全体で学べる機会が増える**と考える。

# 平和祈念フェスタ in 清瀬 アンケート結果

「平和祈念フェスタ in 清瀬」映画上映会で視聴されて、平和に対する想いや関心は深まったか？

年	月	はい	いいえ	どちらともいえない	未回答
平成30年度	8月	21	0	1	0
平成31年度	3月	15	0	1	1
令和元年度	8月	17	0	0	2
令和2年度	12月	7	0	1	0
令和2年度	3月	26	0	3	0
令和3年度	8月	25	1	1	0
令和3年度	3月	18	0	0	3
令和4年度	8月	43	2	4	4

平和に関するイベントの開催で平和への関心が深まることが期待される。

# 最後に

## 「手をつなぎ 心をつむぐ みどりの清瀬」を 平和で安心して住み続けていけるまちへ

現在、さまざまな理由により世界各地で戦争や紛争が起こっている。多くの国や地域において戦災によって人権が抑圧されていることは平和を享受している私たち清瀬市民にとっても決して他人事ではない。

清瀬市のまちづくりの基本理念である「手をつなぎ 心をつむぐ みどりの清瀬」は市民同士だけでなく、世界中の人々とも「手をつなぎ、心をつむぐ」ことにより世界平和を願う理念でもあると考える。

清瀬市まちづくり委員会は、清瀬市が更なる平和事業の推進に向け、市全体で取り組める事業を展開し、これからも平和で安心して住み続けていけるまちとなることを願っている。

ご清聴ありがとうございました